# 社会実装を見据えた研究 大学の価値と国際競争力を高める で

実践的な学びを重視した研究と教育を行っている。デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパークを研究拠点に、「学理と実際の調和」を建学の理念とし、11学部15研究科1研究所からなる総合大学だ。「自然科学系」「生命・医学系」の4大学術系列にわたる神戸大学は「人文・人間科学系」「社会科学系」

## 総合大学の強みを活かした 異分野共創研究

ています」 「あなたの学びたいことがここにあ そんな大学でありたいと思

ビジョンに掲げる 神戸

八学長だ。2021年の学長就任以 そう話すのは、 大学の藤澤正 「知と人を創



藤澤正人学長

ふじさわ・まさと/1984年、神戸大学医学部卒業。89年、同大学大学院医学研究科博 士課程を修了。同大学大学院医学研究科長、

医学部長を経て、2021年から現職。

に改組したシステム情報 エンス活 やデ

ヘの変革」

を進める。

大学なら

立てなければなり

ビジョンの実現に向け、

· ショ

丰

ス

調和」です。

大学での学びを世に役

ながることを強く重視している。

藤澤学長は、

研究が社会実装につ

「神戸大学の理念は

『学理と実際

ヤ ン パ ロ

指して、 グロ めてきた。 バル拠点」を目 大学改革を進

システ

して社会課題の解決にも貢献で

ム情報学領域の知識や技術を

開発を支える高度な専門 領域をかけ合わせ、 究の場だ。 れた医療創成工学科も異分野共創研 2025年 する。 医学と工学という2つ 月に医学部に新設さ 医療機器の国内 人材を育成

学部新設の背景を語る藤澤学長は表

ション

や株式会社神戸大

の学位が取得可能となった。

情を引き締める。

0)

よっては3年で学部卒業、 きる人材育成を目的とする。

最短6年

く展開されている。

産官学連携本部

株式会社神戸

大学イノ

ベ

成績に

屯

民間企業と連携した研究が数多

戦略の中核として、神戸大学と神戸

市における産官学ポ

トアイランド

も盛んだ。神戸医療産業都

DBLRでは産官学連携

た総合大学の強みを生か 情報知能工学科を発展的 した学科と言える。 また、工学部にあった 複数の学部を備え

と考えています」

を社会に送り出すのが大学の使命だ

「社会のニーズに合った優秀な人材

ンチャ

ーキャピタルファンドも産官

学キャピタル (KUC)

といったべ

学発スター

アップは11

0を超え

学連携を後押しする。設立された大

グロー

バルな教育環境

社会実装力のある研究と

る異分野共創研究教育

神戸の街並みを一望できる百年記念館は学術研究の交流の場だ



ク(DBLR)だ。 フサイエンスリサ

バイ

パスは、文教地区として知られる六甲台に 研究科がある

もの

づくり共創研究拠点の

ほか、

医工学研究拠点、

端膜工学研究拠点、

健康長

れたデジタルバイオ・

ライ

環境の構築を推進する。

力を育てる研究教育

変革のカギを握る研究拠

2023年に設立さ

な視点や技術を創出 ではの価値を生み出す新

Ļ

寿研究拠点、

社会システ

構成される。

ノベーション研究拠点で

六甲台第1キャンパス、六甲台第2キャン 六甲台本館には経済学研究科、経営学

誕生した。 学部も2025年

社会科学系図書館では、学生たちが思い思い

に自習する

## 2025年、医学部に 医療創成工学科を新設

医学部に新設された医療創成工学 科は、大学院にすでに設置されている 医療創成工学専攻との一貫教育体 制により医工学の知識を備えた人材 輩出を目的とする。神戸大学と株式会 社メディカロイドによる手術支援ロボッ ト開発に携わった医学博士でもある藤 澤学長が説明する。

「日本には技術がありながら、医療機 器分野での国際的なシェアは高くない。 それは開発を担う人材が足りないから だろうと手術支援ロボット開発のなか で強く感じ、国内の医療機器開発領 域に人材を送り込む学科が必要だと 考えました

藤澤学長によると、医療創成工学 科は「医工学を学問として修めるので はなく、医療機器開発という最終目標 に向けて学ぶ場」だという。学生たち は「ものづくりの成果がビジネスになる のか」という実践的な視点で学修に励



大学院海事科学研究科附属練習船「海神丸」



大学院農学研究科附属「食資源教育研究センター」

## バイオものづくり研究 J-PEAKSに採択

2023年度、文部科学省による「地 域中核・特色ある研究大学強化促進 事業 (J-PEAKS)」において、神戸大 学の提案「バイオものづくりの卓越し た基礎研究と社会実装の両輪で世界 をリードするイノベーションを継続的に 創出する地域中核のグローバル・イノ ベーション・キャンパス」が採択された。

藤澤学長は「J-PEAKSの採択を 受け、さらにグローバル・イノベーショ ン・キャンパスへの変革を加速させた い」と話す。異分野共創研究領域 「Engineering Biology」を構築し、地 域のバイオ産業活性化にも貢献する 世界トップクラスのバイオものづくり研 究拠点として、社会変革を促す人材 の創出をめざす。

藤澤学長は力強く言い切る。

「産官学連携の研究の場で、研究者 が生み出した知を社会に活かすため の取り組みを着実に進めていきたいで す」

を磨ける場でも

## 社会実装という実学的な視点を忘れ の引き出し』を持ってほしいです 興味のある分野があればその門 して自分のやりたいが可能です。神戸大が可能です。神戸大

口

バル・イノベーション・ DBLRを中心に、

スとなるよう、

文系・理系の枠を

引き出し」も持ってほしい 専門性を伸ばし「多くの

できると期待しています」

も幅広い知識を持った人材を育成

人間なので、

連携す

れば今までよ

も保健も本来は医療領域で働

藤澤学長はさまざまな学びや研究

越えた新たな価値を創出できる構造

をつくろうと考えている。

「GEMs (ジェムズ/神戸大学グ

学生の海外留学を支援するほか、

ル教育管理システム)」

研究科」を設置する予定だ。(届出済)

博士前期課程では「公衆衛生学」

と保健学研究科を統合した

「医学系

「大学で専門性を高めながら、『紅にふれることの大切さを強調する。

多

4月には、

医学研究科

や女性研究者の支援プログラ

を新たに加え、

4つの研究分野を横

近年重視され

「大学にとって研究開発と同じくらも充実している。藤澤学長が話す。

の研究力を支える研

する人材の育成を目指す

総合知を駆使して社会の課題を解決

学の環境を活用

して自分のな

学びの広がりと社会への力を育む大学

戸大学ではそれが可能です。

ことを追求してほし

る「総合知」を身に付け、 断的に学ぶとともに、

専門知と

、材育成と社会貢献で

グロ

バル化も重視したいで

」と続ける。研究が発展しな

と大学も発展しないという考えの

全学がグ キャン

ポイントだと思います」

者の支援は、

大学として最も重要な

Pick-Up

生の海外派遣も支援して研究の

パス環境にするとともに、学受け入れてグローバルなキャ

バイオものづくり研究の様子

文化共生社会ですから、

留学生

化も進める。

藤澤学長は「多

知を生み出す必要があります」 最終的には社会にとって有益な

キャンパスや研究のグロ

「AERA DIGITAL」 副編集

育・研究実績を持ち、その両方携まで、社会課題に直結する教災・感染症研究から企業との連 られています。神戸大学は、防に社会に対応できる力」が求め代は「専門力」と同時に「柔軟得ることができます。いまの時 分野交流を通じて新たな視点を 留学生との交流や海外派遣の機 市・神戸という環境を背景に、 特色ある学びを展開。国際都 さらに「海洋政策科学部」など 自然科学まで で学びを深めら 法学・経済学から医学 学際的な研究や 多様な学部を擁し れることに